

令和3年度 活動紹介票

	団体名	特定非営利活動法人いわてアートサポートセンター	代表者 職・氏名	理事長 坂田裕一
住所	〒020-0874 盛岡市南大通1丁目15-7 盛岡南大通ビル3階		電話	019-656-8145

事業内容

助成区分		復興枠		
事業名称		文化芸術による新たなコミュニティ形成事業		
主な活動地域		岩手県内全域		
取組概要	目的	本事業は、内陸と沿岸の意識格差や心と心の距離を埋めるものとしての「文化芸術」における支援活動や啓発活動、次世代を育む活動を通して、文化芸術を拠り所にする新しい形のコミュニティの形成と心の復興を図ることを目的とする。同時に震災の記憶を文化芸術で伝える役割も果たしていきたい。		
	内容	<p>○みやこ市民劇の専門的スキルアップ支援 ボイストレーニング講座 令和3年12月10日・11日 令和4年3月16日・21日 講師：丸岡千奈美 ショートストーリー講座 令和3年12月17日 講師：道又 力</p> <p>○市民劇連携フォーラム（オンラインフォーラム）の開催 令和3年10月30日 ZOOMにて実施 後日YouTubeにて配信 出席者：小室 好司（岩手県演劇協会副会長）、山井 真帆（二戸市民文士劇）、 菅原 伴耕、小林 立栄、新田 光志（遠野物語ファンタジー）、 白石 雅一（みやこ市民劇）、木地谷 淳、小笠原 克哉（久慈市民おらほーる劇場）</p> <p>○復興10年新しいムーブメントの支援 令和3年10月9日 会場：宮古市地域創生センター 来場者：20名 演奏家：寺崎巖、山口あうい、伊禮しおり、小林亮子、齊藤 弦、佐藤葉子、熊谷啓幸、 藤澤英子、三浦祥子、小林照雄、田口博子 （以上いわてフィルハーモニー・オーケストラ）</p> <p>○市民劇による地域間交流 「語りの芸術祭 in 二戸」公演観劇および第8回二戸市民文士劇公演へのスタッフ参加 令和3年11月13日・14日 参加者：白石雅一、白石紗彩、大槌侑心 （以上みやこ市民劇ファクトリー）</p> <p>○美術指導者等との交流研修会の開催 令和3年10月2日 会場：イーストピアみやこ 創作スタジオ 講師：溝口昭彦 参加者：9名</p> <p>○「いわて震災児童文学2022」の募集 募集期間：令和3年8～10月 選考者：池田克典、柏葉幸子、斎藤純 応募総数：17編 発行：令和4年2月 A5版500部</p> <p>○朗読劇の作品作りと公演の実施 令和4年2月26日 会場：釜石市民ホールTETTO ホールA 来場者：50名 出演者：江幡平三郎、長谷川拳杜、山井真帆、小笠原景子、久保綾愛</p> <p>○「3.11文化によるいわて復興フォーラム」の開催 令和4年3月13日 会場：もりおか町家物語館 浜藤ホール 来場者：31名</p>		
	成果 （将来計画）		計画	実績
	みやこ市民劇各種講座 参加者数	30名以上	36名	120%
	復興10年新しいムーブメントの支援 観客数	30名以上	20名	66%
	美術指導者等との交流研修会 参加者数	10名以上	9名	90%
	震災児童文学公募 応募作品数	25編以上	17編	68%
	朗読劇「あの日から～加奈子～」 来場者数	100名以上	50名	50%
	文化によるいわて復興フォーラム 来場者数	50名以上	31名	62%
事業費（千円）		3,681千円（うち補助金3,312千円）		



ボイストレーニング講座の様子



朗読劇「あの日から～加奈子～」釜石公演